

デジタル触地図 [国立民族学博物館触知案内板]

デジタル触地図[国立民族学博物館触知案内板]は、視覚に障がいのある人とない人が、分け隔てなく館内情報にアクセスできるインタラクティブな触地図システムです。タッチパネルディスプレイ上に設置したフィンガーガイドと音声案内との連動によって、館内の位置情報や展示案内を触覚と聴覚から得ることができます。現在、本館の展示場に3台設置され活用されています。

このデジタル触地図は、国立民族学博物館の文化資源プロジェクトにより開発されました。本プロジェクトのメンバーである九州大学大学院芸術工学研究院の平井康之教授、山口大学国際総合科学部の富本浩一郎講師が主導してデザインしました。

受賞

「2020年度グッドデザイン賞」

主催：公益財団法人 日本デザイン振興会

受賞対象：デジタル触地図[国立民族学博物館触知案内板]

受賞企業：国立民族学博物館、九州大学、山口大学

「IAUD国際デザイン賞2020 銀賞(公共空間デザイン部門)」

主催：IAUD(一般財団法人 国際ユニヴァーサルデザイン協議会)

受賞対象：デジタル触地図[国立民族学博物館触知案内板]

受賞企業：国立民族学博物館、九州大学、山口大学

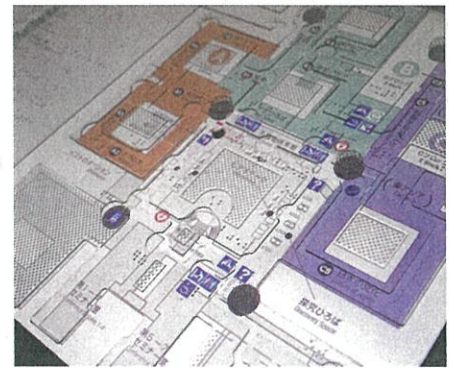
「UNIVERSAL DESIGN expert 2021(専門家賞)」

「UNIVERSAL DESIGN consumer 2021(消費者賞)」

主催：IUD(Institute for Universal Design ドイツ)

受賞対象：デジタル触地図[国立民族学博物館触知案内板]

受賞企業：国立民族学博物館、九州大学、山口大学



さまざまな賞を受賞したデジタル触地図
[国立民族学博物館触知案内板]

バーチャルミュージアム

みんなくホームページでは、バーチャルミュージアムを公開しています。本館展示場を超広角カメラでくまなく撮影したもので、パソコンやスマートフォンで各展示場の様子をさまざまな角度から見るができます。一部の展示資料については、解説映像を視聴することができます。また、これまでに本館で開催した特別展示や企画展示等の展示記録パノラマムービーも公開しています。



バーチャルミュージアム(アフリカ展示)



解説映像視聴画面